

— 第40回記念コンサートに寄せて —

株式会社ハーモニックドライブ・システムズ
 代表取締役社長 **丸山 顕**

このたび、第40回記念コンサートが開催されますことを、心よりお喜び申し上げます。
 本コンサートは、工場所在地であった旧豊科町(現安曇野市)の方々へのお礼の気持ちにて、開催したことに始まり、安曇野市の皆さまに音楽を身近に楽しんでいただく機会として、長年にわたり継続してまいりました。その後、公益財団法人ハーモニック伊藤財団が主催を担う形へと移行し、現在は協賛という立場ではありますが、本コンサートが大切にしてきた思いと歩みは、40回という節目を迎えた今も変わることなく受け継がれているものと感じております。

一つの催しが40年にわたり継続されてきたという事実は、決して偶然の積み重ねではありません。時代や社会環境が大きく変化するなかにあっても、本コンサートが安曇野市の地で開催され続けてきたことは、音楽が地域の暮らしの中に深く根付いてきた証であるといえるでしょう。そして何より、この長い歩みを支えてくださったのは、毎回会場に足を運び、演奏に耳を傾けてくださった安曇野市民の皆さまお一人おひとりの存在です。多くの方々が本コンサートを身近な一つの催しとして受け止め、親しみ、楽しみにして下さったことが、今日まで続けてこられた大きな力となってまいりました。そうした積み重ねの中で、世代を超えて多くの方々が足を運ばれ、ご家族やご友人と音楽を共有する場として親しまれてきたことも、本コンサートの大きな特徴であり、第40回という節目を迎える理由の一つであると感じております。ここに、あらためて深く感謝申し上げます。

音楽には、年齢や立場、日々の忙しさを超えて、人の心に静かに寄り添い、同じ時間と空間を共有する力があります。美しい自然に囲まれた安曇野市において、こうした音楽の力を感じるひとときが積み重ねられてきたことは、私ども自身がこの地域で大切にしてきた取り組みであり、今後も次の世代へと受け継がれていくことを願ってやみません。

当社は、安曇野市に拠点を移して以来、事業活動を通じて地域とのつながりを大切にしながら歩んでまいりました。本コンサートへの協賛も、そうした地域との関わりの中で続けてきた取り組みの一つであり、たいへん意義深く感じております。これからも、この場が市民の皆さまにとって、心安らぐひとときであり続けることを願っております。

今後も当社は地域に根差した企業として、豊かな地域社会づくりに微力ながら貢献してまいりたいと考えております。本日の演奏が、ご来場の皆さまお一人おひとりの心に深く残るひとときとなり、未来へとつながる記念すべき第40回のコンサートとなりますことを願い、ご挨拶とさせていただきます。

会場・チケット販売

安曇野市豊科公民館

長野県安曇野市豊科4289-1 TEL.0263-72-2158



思いやり駐車スペースをご用意しておりますが数に限りがございます。
 駐車場係にお声がけください。

チケット販売

株式会社ハーモニックドライブ・システムズ 穂高工場 警備室

長野県安曇野市穂高牧1856-1 TEL.0263-83-6800



チケット販売

場所

▶ 安曇野市豊科公民館 長野県安曇野市豊科4289-1
 ▶ 株式会社ハーモニックドライブ・システムズ 穂高工場(総務部・警備室) 長野県安曇野市穂高牧1856-1

期間

コンサート前日の17:00まで
 《但し、チケットに余裕がある場合は当日15:00から会場正面玄関で販売します。》

時間

平日の9:00~17:00

お手数をおかけしますが、当日、本プログラムをご持参いただくようよろしくお願いいたします。

お問い合わせ ▶ 株式会社ハーモニックドライブ・システムズ 穂高工場 TEL.0263-83-6800 (事務局:総務部)



Harmonic Concert

第40回ハーモニックコンサート

Piano (ピアノ) **金子 三勇士**

2026年 **6月27日(土)**

開場 16時30分 開演 17時00分

会場 / **安曇野市豊科公民館**

入場料 / **¥1,000** (全席自由/先着600名様)

入場料は全額、安曇野市へ
 学校図書費として寄付します

主催: 公益財団法人 **ハーモニック伊藤財団**

<https://www.harmonicito-f.or.jp/>

協賛: 株式会社 **ハーモニックドライブ・システムズ**

<https://www.hds.co.jp/>

後援: 安曇野市教育委員会・HDS調和会

ハーモニックコンサート 第40回を迎えて

公益財団法人ハーモニック伊藤財団 設立者
株式会社ハーモニックドライブ・システムズ 特別顧問

伊藤 光昌

1980年に始めたハーモニックコンサートも、途中コロナ禍等で何回かが抜けたものの、今年で第40回を迎えます。このように長きにわたり続けてこられたのは、ひとえにハーモニックコンサート開催に携わってこられた行政機関の担当の方々のご尽力はもとより、長年にわたる安曇野在住の皆様のご支援の賜物です。心より感謝いたします。

1979年の秋のある日、所敦夫氏(元ハーモニック・ドライブ・システムズ社長)より、下記の相談を受けました。
「ハーモニック・ドライブ・システムズも設立以来10年を迎える。この間、多くの方々のご支援をいただいた。そこで、工場所在地の豊科町(現安曇野市)の方々へのお礼という意味で、何か喜んでいただける催し物を企画したい。長続きとの観点から、クラシック音楽会が良いと考えるが、どうであろうか。賛成ならば、出演者を選んでほしい。」
私は、この案に賛同しつつも、安曇野でクラシック音楽が受け入れられるのか、一抹の不安を抱いていました。しかし、このような催し物は、継続することが大切と考え、始める以上は最低10年は続ける前提で開始に踏み切りました。

予想どおり、その知名度の低さゆえ、600人収容の豊科公民館が、初年度は53人、その後の3～4年は、100人前後の観客数でした。これは演奏者には失礼な状況と思い、公演依頼時には、音楽会の意図を十分ご理解いただいた上でご出演いただくようにしました。そして演奏者には、我々からは意向を一切申し上げずにご自身のお考えで曲目や構成など自由に演奏していただくこととしました。

当初、ハーモニックコンサートは入場料無料でした。3回目にご出演いただいた豊田耕児氏から、「無料は視聴者にとっても出演者にとっても良いことではない。たとえ1,000円でも、入場料を取るべき」とのご意見をいただきました。これにより、翌年から入場料1,000円に設定し、全額を旧豊科町(現安曇野市)へ学校図書費として寄付することにしています。

その後、1990年頃からは、秦 正二氏(元ハーモニック・ドライブ・システムズ副社長)の安曇野の人々との緊密な繋がり、地元への感謝の意と心の通った地道な活動が実を結んだ結果、ハーモニックコンサートの知名度が急速に上がって公民館の全席が埋まるようになりました。家族で来場された小学生くらいの子が熱心に演奏に聴き入っているのを見るにつれ、労多くしてクラシック音楽会を企画してきた甲斐があったと胸に迫るものがあります。またある時は、想定を上回る人数が来場されたため、私の一存で全員に入場していただき、座席がない方には階段に座っていただきました。しかし、それは消防法に違反するということが事後わかり、大いに反省した次第です。

このようにハーモニックコンサートは、安曇野の方々への感謝の意を表すという当初の目的とおりの地道な活動を通して、皆様に愛される安曇野の一大行事に成長したと思っています。
この先人達の想いのこもったハーモニックコンサートが次世代に引き継がれながら、未永く安曇野市民の皆様にご喜びを与えることを願います。

Program

シヨパン

革命のエチュード

シヨパン

夜想曲「遺作」

シヨパン

仔犬のワルツ

モーツァルト

トルコ行進曲

ベートーヴェン

エリーゼのために

ベートーヴェン

ピアノソナタ「悲愴」

－ 休 憩 －

リスト

リゴレット・パラフレーズ

リスト

コンソレーション第3番

リスト

愛の夢

シューマン=リスト

献呈

リスト

ラ・カンパネラ

Profile



金子 三勇士 Miyuji Kaneko

Piano (ピアノ)

1989年、日本人の父とハンガリー人の母のもとに生まれる。6歳より単身ハンガリーに留学。11歳よりハンガリー国立リスト音楽院大学に入学、エックハルト・ガーボル、ケヴェルハイジ・ジュンジ、ワグナー・リタの各氏に師事。16歳で帰国した後、東京音楽大学付属高等学校に編入、清水和音、迫昭嘉、三浦捷子の各氏に師事。同大学を首席で卒業、同大学院修了。

2008年バルトーク国際ピアノコンクール優勝の他、数々の国際コンクールで優勝。
2009年 CHANEL Pygmalion Days 参加アーティスト。
第12回ホテルオークラ音楽賞、第22回出光音楽賞など、受賞多数。

これまでにゾルタン・コチシュ、小林研一郎、秋山和慶、広上淳一、山田和樹、原田慶太楼、鈴木優人、シルヴァン・カンブルラン、ジョナサン・ノット、ジョン・アクセルロッド、アラン・ブリバエフなど、国内外の名だたる指揮者と共演。オーケストラではハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団、ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団、ブラハ交響楽団、シンフォニア・ヴァルソヴィア、NHK交響楽団、他と共演。これまでハンガリー、フランス、ドイツ、オーストリア、ポーランド、アメリカ、ロシア、中国、シンガポール等含む世界各地で演奏活動を行なう。

近年はライフワークの一環としてアウトリーチ活動も積極的に行い、コロナ禍ではオンラインを活用したさまざまな企画を発信。NHK-FM「リサイタル・パッション」に司会者としてレギュラー出演の他、テレビ、ラジオなど多数メディアに出演。

2021年に日本デビュー10周年を迎え、2022年3月にサントリーホールでソロ・リサイタル「原点×挑戦」を開催。同年、ドイツ・グラモフォンより新譜CD「フロイデ」もリリースした。2024年4月に発足した「日本＝ハンガリー未来プロジェクト」のエグゼクティブプロデューサーに就任、国家間の文化交流に精力的に取り組んでいる。キシュマロシュ名誉市民。スタインウェイ・アーティスト。

オフィシャルHP ▶ <https://miyuji.jp/>